

タオル・メッセージの回収期間

2018年5月7日(月)～

5月18日(金)まで

生産者に

タオルを
届けよう！

私たちが飲む牛乳づくりを支えるために



良質な生乳を
作るために、たくさんの
タオルが必要です。



こんなタオルをお願いします

色

白がベスト

(牛の乳房などをふいているときに
出血などがわかるため)

色柄物でも構いません

(作業用具などの
清掃に使います)

大きさ

フェイスタオルが
ベスト

バスタオル・
ボディタオルもOK

未使用

のし紙や袋は
そのまま
大丈夫

(未使用だとすぐに
わかるため)



ハンドタオル
(小さすぎるため)



てぬぐい
(うすいため)



使用したタオルは
洗濯済みでも
ご遠慮ください



第33回 タオルを贈る運動



1985年からのべ236万枚!

組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、
生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながり、
生まれたのが、低めの温度で殺菌するパルスシステムの牛乳。
そんな牛乳づくりには、菌数の少ない良質な生乳が欠かせません。
生産現場では、清潔な環境を保つため、たくさんのタオルが必要になります。
そのことを知った組合員が「私たちにできることは?」と、
組合員同士で声を掛け合い、1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」です。
昨年はタオル54,163枚、メッセージ4,340通を産地に贈りました。

産地ではこんなふうに使っています



▲乳房をふいて清潔にすることで生乳の菌数が抑えられます



◀タオルは洗って繰り返し大切に使い、1カ月くらいで新しいタオルに取り替えます



▲牛がびっくりしないように、ぬるま湯に浸したタオルで乳房をふきます

「これからも良質なおいしい牛乳をお届けします!」

組合員のみなさん、毎年タオルをたくさん贈っていただきありがとうございます。牛の乳房をふいたり、子牛のからだをふいたりいろいろな使えて、本当に助かっています。贈ってもらったタオルとメッセージに組合員の思いが詰まっているのが伝わってきます。いろいろなデザインのタオルを見るのも楽しみのひとつなんです。これからも良質なおいしい牛乳をみなさんにお届けできるようにがんばります。

『酪農家の牛乳』の生産者・
木名瀬幸吉さん(中央)
とご家族
(茨城県小美玉市)



あなたのタオルとメッセージを
お待ちしております!

メッセージを贈る牛乳を○で囲んでください。

メッセージを贈ろう



回収期間は

5月7日(月)～5月18日(金)

【ご提出方法】

メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙をタオルといっしょに保冷箱に入れて提出してください。

※この期間以外は回収できません。出し忘れにご注意ください。

ご利用の生協名・センター名：パルスシステム

センター

【

】枚のタオルを贈ります